

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

討議年月日: 令和 6 年 3 月 日

公表: 令和 6 年 3 月 22 日

事業所名 このき尾張旭校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	・利用者様の部屋割りを職員で話し合っている。	・利用者様の人数が多い場合は密集して遊んでいることがあるので、分散していく必要がある。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	・送迎ルートの組み換えなどを話し合っている。 ・他事業所から応援に来てもらっている。	・送迎や活動プログラムが回らないときがあるため、人員配置を検討していく。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		6	・必要な場合は職員が補助している。	・スロープ等はないが现阶段では設置する予定はない。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	2		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6		・月2回程度、社内研修があり参加している。	・今後も研修があれば参加する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	1		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	6		・職員一人ではなく、複数名で必ず考え、月ごとのニーズに合わせている。	・今後も複数名で活動プログラムを協議していく。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6		・職員間で話し合いをし、曜日別で活動を設定している。	・曜日固定で利用される利用者様にもさまざまな活動に参加できるように立案していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	1		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6		・ミーティングの時間を決めて毎日行っている。	・職員の配置場所なども打ち合わせしているため、同内容で今
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6		・その日にあったことは職員間で話している。	・今後も情報共有を続けていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6		・毎日支援実施記録と連絡帳の記入をしている。	・今後も継続する。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6			

19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	6			
----	---------------------------------	---	--	--	--

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	6			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	4		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	2	4		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	4	・該当する利用者様が今までにいないが、できるようにしている。	・前例はないが、今後該当する利用者様がいるときには情報提供や情報共有を行っていきたいと考えている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6			
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		6	・コロナ流行以前は児童館に行っていた。	・公園に遊びに行く際に、事業所外のお子様と遊ぶことがあるため、そのような機会を増やしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	5		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		6	・コロナ流行以前は3か月に1回程度保護者交流会を行っていた。	・2024年は保護者交流会の再開を検討している。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	3		
	35	個人情報に十分注意している	6			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	5		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	3	・職員では共有しており、必要に応じて内容を変更している。 ・職員では共有しているが、保護者には周知していないため、今後方法を検討していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	6		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	1	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6		